

健康保険証の存続を求める要望を 市議会環境市民厚生常任委員会で審議

亀岡市環境市民厚生常任委員会は、9月12日（火）に亀岡社保協など5団体連名で出されていた「健康保険証の存続を求める要望」について審議を行いました。

冒頭、要望団体を代表して亀岡社保協会長から意見陳述を行いました。意見陳述では、亀岡市国民健康保険被保険者のうち8,500人余りの方がマイナ保険証を取得しておらず、後期高齢者13,800人以上の方を合わせて2万人以上の市民が必要なときに、必要な医療を受けることができない事態が生じる危険があるとして、健康保険証の存続を強く訴えました。

トラブルが多発していることは承知している 不安はみなさんと共有している

委員会審議では、

- トラブルが多発していることは承知している。慎重に進めてほしい。
 - 障害者のある方から、マイナカード申請の時に写真を何度も撮り直しをし、5年ごとの更新に不安があるという声を聴いている。この問題の不安は皆さんと共有している。
 - 大勢傍聴に来ていただいた市民の声を聴いて、国に意見書を提出するのがいい。
- など、健康保険証の存続を求める要望を受け止める発言がありました。



デジタル化は必要不可欠 健康保険証とマイナ保険証の併用はデジタル化に反する

一方、公明党の委員からは、日本社会のデジタル化は必要不可欠である。マイナ保険証と健康保険証の併用は、デジタル化に反するという発言がありました。また、ある委員からは健康保険証の廃止が、すべて国民皆保険制度に影響するか疑問だという発言がありました。

今後の動向、時期をみて再検討するのがよい

審議の結果、来年秋まで1年の猶予がある。現時点での撤回要求は時期尚早。今後の動向、時期を見て再検討するのがよい、要望は聞き置くということになりました。

健康保険証の存続を求める

亀岡連絡会（仮称）準備会

来年秋の健康保険証廃止を許さない取り組みを進めるため、表記準備会を開催します。ぜひご参加ください。

○日時：11月2日（木）

午前10時

○会場：亀岡教育会館



介護サービス利用アンケート

にご協力をお願いします

来年4月から、第9期亀岡市介護保険事業が始まります。亀岡社保協で、介護保険制度を少しでも利用しやすいものにしていくために、「介護サービス利用アンケート」（裏面にアンケート用紙）に取り組んでいます。

ご協力いただける方がありましたら、中井（090-4039-1233）までご連絡ください。